

報道関係者 各位

令和4年4月25日

【照会先】

厚生労働省

健康局 結核感染症課

感染症情報管理室長

今川 正紀

課長補佐 杉原 淳

(代表番号) 03(5253)1111

## 小児の原因不明の急性肝炎について

世界保健機関（WHO）の報告によると、4月21日現在、12カ国で少なくとも169例（死亡1名）の小児における病因不明の急性肝炎が継続して報告されています。うち、74例でアデノウイルスが検出されていますが、原因ウイルス等については不明であるとされています。また、小児における急性肝炎が実際に増加しているのかについても、不明であるとされています。WHOでは、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

厚生労働省ではこうした事案について、令和4年4月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼の事務連絡を発出しているところです。

今般、WHOが作成した暫定的な症例定義（※）の②「可能性例」に該当する入院症例が1件発生した旨の連絡がありましたので、別添のとおり、公表します。今後、定期的に症例報告の状況を取りまとめて公表していきます。

厚生労働省としては、引き続き、各国政府やWHO、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ WHOは4月23日に以下の暫定的な症例定義(working case definition)を定めている。

- ① 確定例(confirmed)：現時点ではなし。
- ② 可能性例(probable)：2021年1月1日以降、アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)またはアラントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎(A型～E型肝炎を除く\*)を呈する16歳以下の小児
- ③ 疫学的関連例(epi-linked)：2021年1月1日以降の確定症例（4月22日以前）の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎(A型～E型肝炎を除く\*)を呈する者

\*肝炎ウイルスA-Eの結果待ちで上記定義に合致する場合は、“分類待ち”として報告可能。

(別添 1)

【小児の原因不明の急性肝炎の入院症例の発生状況】

No.	肝移植	SARS-CoV-2PCR 検査	アデノウイルス PCR 検査
1	なし	陰性	陰性

(参考 1 : 急性肝炎)

- ・ 急性肝炎は、症状が現われない人や、食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、濃色尿、下痢などが見られ、黄疸も認められるようになる。
- ・ 日本肝移植学会の肝移植症例登録報告では急性肝不全として、HBV、薬剤性、自己免疫性肝炎、ウイルス性（非 HBV）、原因不明、その他、等に分類されます。2018 年から 2020 年の 3 年間の小児肝移植の事例数は、41 例。うち、ウイルス性（非 HBV）2 例、原因不明 36 例、新生児ヘモクロマトーシス 1 例、その他 2 例。
- ・ 急性肝炎の原因ウイルスによって異なり、経口感染、血液感染、母子感染、性感染などがある。治療はいずれの急性肝炎でも対処療法のみであるが、劇症肝炎の場合には血漿交換、人工肝補助療法、肝移植などの特殊治療が必要となる場合がある。

出典：国立感染症研究所 IDWR 2002 年第 3 号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/2403-hv.html>

出典：日本肝移植学会・肝移植症例登録報告（一部改訂）

<http://jlts.umin.ac.jp/images/annual/JLTSRegistry2020.pdf>

(参考 2 : アデノウイルスについて)

- ・ アデノウイルス科マストアデノウイルス属に属するヒトアデノウイルスは、エンベロープを持たない 2 本鎖 DNA ウィルスであり、物理化学的に比較的安定である。現在 A-G の 7 種に分類され、80 を超える型が存在している。
- ・ アデノウイルスは、急性上気道炎などの呼吸器疾患、流行性角結膜炎などの眼疾患、感染性胃腸炎などの消化器疾患を起こす。また、出血性膀胱炎、尿道炎などの泌尿器疾患、さらに肝炎なども起こす。アデノウイルス肝炎はアデノウイルス感染症の中では比較的稀な疾患であるが、臓器移植や抗がん剤治療を受ける患者、免疫不全疾患、HIV 感染症など免疫能低下が著しい患者で発症し、しばしば重篤化し致命的になる。アデノウイルス肝炎の治療として国内で確立された治療法はない。

出典：国立感染症研究所 IASR Vol. 42 p70: 2021 年 4 月号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2538-related-articles/related-articles-494/10291-494r01.html>